

**兵高教組**  
**確定速報 4号**  
 2011年11月7日 調査情報18号

兵庫県高等学校教職員組合調査部  
 TEL : 078-341-6745  
 FAX : 078-351-3185  
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com  
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

# これ以上の賃金カットは許さない!



## 第1回賃金確定交渉(11/4)

高教組・従組・兵庫教組の合同交渉団は、11月4日、県教委との第1回賃金確定交渉を行いました。今年の人事委員会勧告は、3年連続の賃下げ勧告となっていますが、県「行革」の賃金カットがなかったものとしての公民較差による賃下げ勧告であり、当局はこの間「行革」により賃金を5%カットした上、さらに人事委員会勧告通りの賃金引き下げを行っています。交渉団は、職員の士気を低下させ、教育の低下につながる理不尽な「行革」カットを徹底的に批判・追及し、その中止を強く要求しました。

### 教育のためにしっかり議論を

冒頭のあいさつで雨松委員長は、賃金、成果主義、職場の問題について、「賃金の引き下げが先進国の中で唯一経済成長を止めている原因になっていることは明らかだ。景気浮揚のポイントは賃金。国が誤った政策をしているが、兵庫県は広い視点で考えよ」「成果主義賃金について、総本山の経団連も『このまま成果主義賃金を続けたら若者が育たない』と総括している。そこをしっかりと踏まえて交渉に応じよ」「職場は、仕事が増える中で毎年賃金が下げられている。これ以上給料を下げるのなら、もうしんどい仕事はしないという声が出てきそうに、職場の雰囲気は変わっている。その雰囲気は子どもたちの教育

にとって決してよくない。しっかり議論し、回答を得たい」と今確定交渉の中心となる問題について述べました。

### これ以上の賃下げは容認できない

福住書記長は、3教組統一要求書の重点項目に沿って、行革カットを中止すること、国の財政措置の動向を理由にした国卸の賃金カットを行わないこと、自宅に係る住居手当を引き下げないこと、民間でも破綻している成績主義賃金を決して導入しないこと、現給保障を途中で終わらせるような約束違反を行わないこと、超勤縮減について校長をしっかり指導することなどを要求しました。

### 人事委員会の報告を受け止めよ

大久保教育次長は回答で人事委員会勧告について報告し、また兵庫県の厳しい財政状況を強調しましたが、永井副委員長は「今年の人事委員会勧告は、『行革』措置について、『諸条件が整えば地方公務員法に定める給与決定の原則が尊重されることを期待する』と書いてあるのに、そのことに一切触れない。これをどう受け止めるか、何らかの言及があるべきだ」と追及しました。

### 理解できない賃金削減は中止せよ

小野副委員長も、「行革」カットについて「若い職員に説明しても、実際には『行革』によって賃金が低いにもかかわらず、それがいいものとして賃金を引き下げることが分からないという。また、『これでは優秀な人材は集まらない』とも言っている。昨年次長はこの問題について『重く受け止める』と

回答したが、今年はこのカットを回復させることを強く求める」と当局を追及しました。

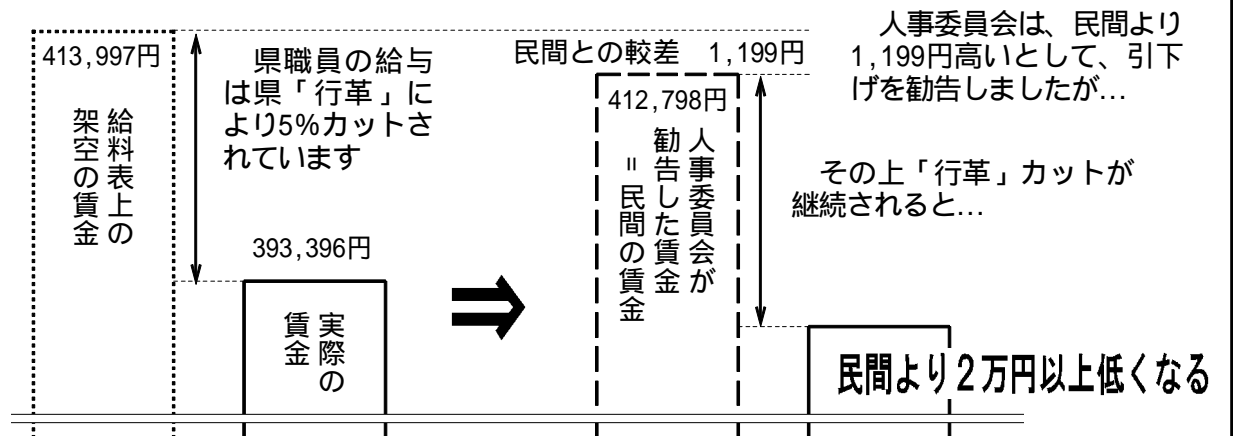
### 希望を持って働くための賃金改善を

従組の渡邊書記長は、「技能労務職員の賃金は、国の指導による給料表の改悪、給与構造改革による賃下げ、その上に県『行革』と、三重に削減されている。これ以上技能労務職員を狙い打ちするような賃金カットを行わず、給料表の抜本改善を求めると強く要求しました。

### 兵庫の教育の向上につながる

#### 賃金労働条件の改善をめざそう

大久保教育次長は「本日の時点で具体的な回答を示すことはできない」としました。高教組は、「行革」カットを中止させ、兵庫の教育の向上につながる賃金・労働条件改善を目指して当局との交渉を進めていきます。



## こんな理不尽なことは許せません!!

**全教職員の9大要求署名を積み上げ、  
「行革」カットを中止させましょう**

11月17日(木)に提出します (11月24日(木)追加分提出)